

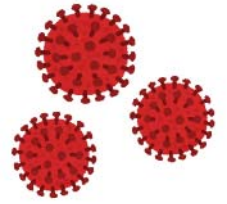
「新型コロナウイルス感染症」に関してわかっていること

厚生労働省新型コロナウイルス対策推進本部地域支援班 DMAT 赤星昂己

神奈川県医療危機対策本部室 クラスタ対策班

1. ウィルスの特徴

- ・今回の新型コロナウイルスは7種類目のコロナウイルスで病名を COVID-19、ウィルス名を SARS-CoV-2 と名付けられている
- ・1本鎖(+)のRNA ウィルスでエンベロープ（ウィルス表面の脂肪の膜）がある
- ・エンベロープ表面に存在する突起が王冠（ギリシャ語でコロナ）に見えることが名前の由来
- ・新型コロナウイルスは3日程度で環境表面では失活する*1



→物に付着した新型コロナウイルスは3日程度経過すると自然と失活する
新型コロナウイルスはアルコール、界面活性剤（洗剤）、塩素系漂白剤で消毒できる*2

2. 伝播様式

- ・主な感染経路はくしゃみや咳で発生する細かな水滴「飛沫」の吸い込み*3
- ・会話等の日常生活で発生する比較的大きな「飛沫」による感染による予防にはサージカルマスク
- ・気管挿管等のケアで発生するより細かな「飛沫」や、陽性者を隔離する病室などの密閉された空間での感染予防には N95 マスク着用を推奨
- ・ウィルスが付着した手指が眼・鼻・口等の粘膜に接触することでも感染*3
- ・潜伏期間は1日～最大14日間
- ・血液、尿、便から感染性のある SARS-CoV-2 ウィルスを検出することは稀*4



→細かな飛沫による感染の予防には N95 マスク、日常の感染予防には サージカルマスク
接触感染の予防には 手洗いと手指消毒等の標準予防策
口腔ケア、食事介助時にはエプロン、手袋、フェイスシールド又はゴーグル、マスクの着用



3. 感染力

発症する直前（平均0.7日前）が最も感染しやすい。発症後10日までに感染性は急激に低下する*5。

→重症度や年齢・性別・ウィルス型によらず発症後10日までに感染性は急激に低下する
→また発症してから5日間が最も感染力が強いことがわかってきている

4. 新しい退院基準・解除基準・濃厚接触者の経過観察期間

- ・退院基準、療養基準（2020年6月12日～）

症状がある人：「発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快*後72時間経過した場合」
症状がない人：「検体採取日から10日間経過した場合」

※症状軽快：解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合

→つまり退院した人、療養終了した人が「感染性」をもつ可能性は極めて低い

・濃厚接触者の健康観察期間

「濃厚接触者」とされている方は、陽性患者との接触がなくなった日から 14 日間の徹底した健康観察が必要とされます。それは新型コロナウイルスの潜伏期間が最長で 14 日間だからです。しかし、14 日間の健康観察の後は濃厚接触者ではなくなります。そして最長の潜伏期間である 14 日間を経過しています。

→日々の健康観察（体温、呼吸器症状、味覚・嗅覚異常の確認）を徹底してください
健康観察期間の後は、濃厚接触者だった方からの感染を心配する必要はありません

5 洗濯に関して

医療法上は「80℃以上の熱湯に 10 分間漬ける」「次亜塩素酸につける」とされていますが、現実的にそれを施設での対応に迫られている中で行うのは困難です。

新型コロナウイルスは通常の洗剤を用いて洗濯すれば感染性は無くなる
ことがわかっています。

また柔軟剤にもウイルスを不活化する成分が含まれており、柔軟剤によっても感染性は無くなります。

防護服を着て患者さんに接している中で、皆さんの衣類にウイルスが付着している可能性は低いですが、さらに洗濯機に入れるまでの感染予防に注意していただければ、通常の洗濯・乾燥で感染を心配する必要はなくなります。



6. 陽性者の仕事復帰に際して

ホテルや病院からの退院者は全員が発症から最低 11 日が経過しています。

つまり、他の人に感染させるだけのウイルス量を持っている人はいないのです。

さらに、一度陽性になった方は抗体を持っているため、街中で他人と同じ空間を過ごすよりも安全です。よって、陽性だった方で回復された方に防護服を着て対応する必要は全くありません。

7. 今、皆さんにお願いしたいこと

もはや、感染を完全に予防することはできない世の中になっており、まさに「明日は我が身」

今は、人も少なく大変な時期ですから、感染した人もしなかった人も、

「みんなで力を合わせて今の難曲を乗り越える」ことが大切です。



適切な知識に基づき、無駄な差別や偏見を持たず、周りのスタッフへの配慮をしながら
チームワークを築くことが、収束への近道です。

この集団感染は「絶対」に収束します！！

出口がないわけではなく、必ず終わりがあります。

それまでは国、クラスター対策班、保健福祉事務所がみんなでサポートします。

力を合わせて頑張りましょう！！

<参考文献>

*1: Doremalen et al., Aerosol and surface stability of SARS-CoV-2 as compared with SARS-CoV-1, New England Journal of Medicine (2020), doi:10.1056

*2: 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について(厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ).
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html

*3: 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第6版.

*4: Wolfel R et al, Virological Assessment of hospitalized patients with COVID-2019 NATURE 2020

*5: He et al., Temporal dynamics in viral shedding and transmissibility of COVID-19. Nature Med. April 15